

2022 年度 活動実施報告書

北海道教育大学岩見沢校

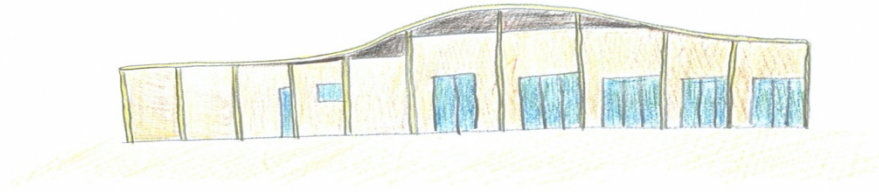
～目次～

| | |
|---------------------|--------|
| [1] 第一回 針生訪問 | p3~5 |
| [2] 第二回 針生訪問 | p6~10 |
| [2-1] 1日目 | p6 |
| [2-2] 2日目 | p7 |
| [2-3] 3日目 | p8 |
| [2-4] 4日目 | p9~10 |
| [3] 今後について | p11~14 |
| [3-1] フリースペースを作る | p12 |
| [3-2] ホームページ作成・動画編集 | p13 |
| [3-3] 星空観察 | p13~14 |
| [3-4] ジオラマ作成 | p14 |

1. 第一回 針生訪問

ほしっぱの家

南会津の木材を使って建てられた施設。
一般的なログハウスとは違った木の組み方(縦ログ)をしている。
杉の新しい利用価値を体現している。



南会津町

針生

石山 莉瑚

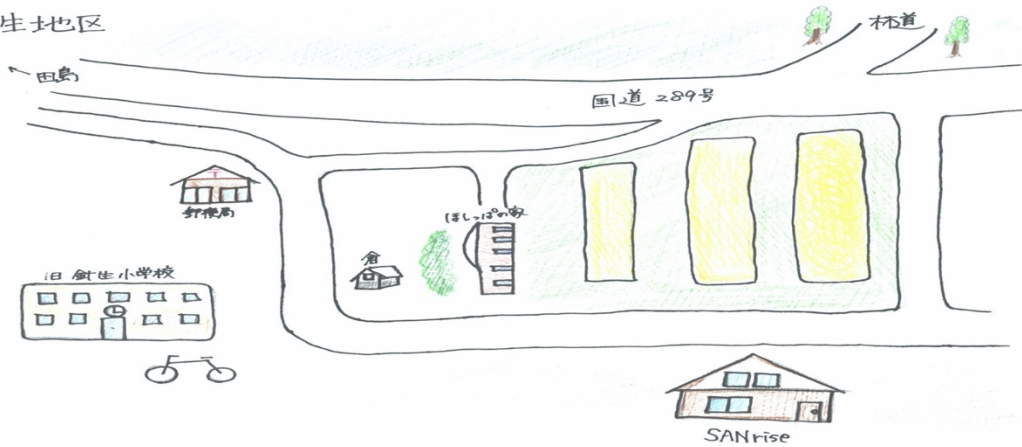


とても人懐。こいヤギが2頭。
右前は「マートン」キートン



10/17ア. ライコン 1期生の
松澤 晴弘が企画した。
MTEのイベント MTEで「森の中を
走り、森の中に目に向けてもらう
こと」が目的!!

針生地区





美しい棚田の風景が一面に広がっている！
午前と午後では太陽の当たり具合で
見え方も違う。傾斜を利用して
作られている。
金庫とは、後地者不足により、
この棚田の風景が減少する恐れが...

扇屋商店のおばあちゃん！
とても親切にしていただきました。
1人1つ商品サービスまでしてくれました！
最後に一緒に写真を撮って
くれました。



倉

まちの中にはたくさん倉があった。
家紋がついていたり、漢字-文字が
書いてあったり...。水って何だ？
よく見ると屋根と倉の間に隙間がある。

昔、この辺りは火事が多かったため、
水神様を祀り、壁を土にして、
屋根から倉に火が移らないように
していたらしい。



家紋がある家が多かった！
倉は屋根が低く、
これは、火事になったときに
全てが燃えるのを
防ぐためだろう...



私たちが目めていたいた
アウトドアライフコース卒業生の
所有さんの家です。
夜には家の前からたくさん星が
見えました。とってもきれいでした！



水の神様がいらっしゃる
のび一目でわかります。
このように書かれている
建物が多かったです。



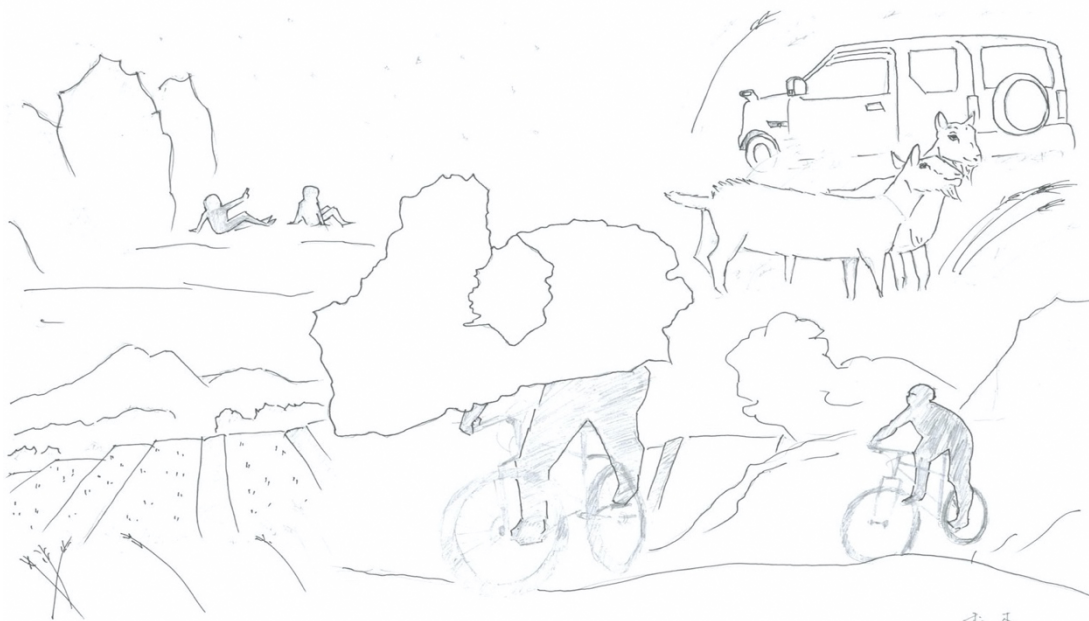
南会津町 針生



これは御神倉！
集荷は1日1回でした。
いつも見ているオレ達の
建物ではなく、地域の
景観に合った建物です。



(まじっばの家の横にある階段を
登ると、神社があります。
ここから針生を一望できます。
棚田とほまなま、た
すばらしい景色を見ることが出来ます！



永木

2.第二回 針生訪問

2-1 1日目

<福島県南会津町針生地区に到着>

16:00 ごろに福島に到着し、現地に着いたのは 19:00 ごろ。南会津の針生地区で地域おこし協力隊である渋川さんに車で宿舎（ほしっぱ）まで送ってもらう。道中の車内にて、針生地区の地域概要を教えてもらう。

- 移住者と地元住民とがわかりやすく分かれていること
(住んでいる地域、文化の違い)
- 地元住民も移住者の意見に否定的ではないこと
- 移住者の意見が通りやすいが、地元住民と移民者との間に少なからず意識的な壁が存在すること
- 針生は福島でも有数の移住者の多さを誇るため、新しい文化が生まれやすいこと
- 針生の先にある駒止湿原に現存する珍しい植生を観に来る人が多いこと etc

これらを針生地域に入る前の予備知識として念頭に置きながら活動を行う



2-2 2日目



2日目は、まず午前中に南会津で伝統的に行われている“歳之神”と呼ばれる祭りの設営のお手伝いをさせていただいた。歳之神は我々の地域で言う「どんど焼き」と内容は変わらないものであった。しかしそのような祭りに設営段階から深く関わることは今までなかったため非常に有意義な時間を過ごさせてもらうことができた。また、南会津の方もボランティアとして参加させていただいた我々を温かく受け入れてくださり町の温もりやつながりを感じることができた。そのほかにも設営が終わった後にゴミ捨て場の高さを改善するという作業も手伝った。私が驚いたのは、そういったことまで町民が行うということである。基本そういったことは全て専門の業者が行うというイメージがあった。しかし針生では消防団の方と町民との距離が非常に近く、業者に頼らず自分たちで町をよくしていた。ただ、全て自分たちで行うというのはそれだけ自分の住む地域のことをよく知っていなければできないことであると思うしコミュニティがしっかりあるからこそのことだと思うので自分の住む町を大切にするといい面でもすごく良いことだと感じた。



次に、南会津について知るべく町内を案内していただいた。基本的には車で町内を回り、途中途中で車を降りた。南会津の歴史や現状、特徴など様々な南会津についてのことを学び、少しだけ南会津の一員になったような気分になった。ただ、これからも関わっていく上でもっと理解することでより地域のためになるような活動になるのだろうと感じた。

そして夕方ごろからは南会津の綺麗な星空を活用した企画を実現させるべく、大鞍社の湯田さんにお話を伺った。そこでは南会津の星空の素晴らしさ、星空観察会の現状、活用するにあたっての課題など今後につながるたくさんのお話をいただいた。星のことをすごく楽しそうに語る姿を見て、なんとか自分も南会津の星の良さを伝えられるよう努力したいと考えた。

2-3 3日目

3日目は、まずNPO法人ひのきスポーツクラブの湯田さんにお話を伺った。湯田さんは、幼い頃から社会人として働いている今までずっと南会津に住み続け、南会津に定住している。消防団として生活をし、ひのきスポーツクラブの一員として、地域の子どもたちのために様々な活動を企画している。湯田さんのお話を聞いて、湯田さんの南会津への強い愛を感じた。それと同時に南会津のすばらしさを改めて感じる事ができた。



午後からは学生のみで集落を散策した。歩き慣れていない地を歩き回り、さらに集落の人々にお話を伺うのはとても大変に感じた。だが、出会った集落の人々は、嫌な顔一つせず、親切にお話をしてくださり、集落の温かさをすごく感じた。南会津の話だけではなく、私たち学生の将来への考え方についても、お話して下さる方もいて、とても充実した時間を過ごすことができたと思います。



2-4 4日目

〈コンテンツ体験“雪板”〉

今回宿泊した南会津町にあるほしっぱ周辺の坂を使って雪板体験をした。福島で雪を使った体験をするのは初めてだった。たくさん雪と触れ合っただけで少しこの場所になじんできたような気がした。

雪板の良さはなんといっても「手軽さ」だと思う。外のアクティビティを始めるとなると、多くの装備を持ち運ぶ必要があったり、場所を選んだり、道具をそろえるため金銭的な面でもハードルが高く、なかなか始められないイメージがある。しかしながら、雪板は板と坂があればすぐに始められる。ビンディングがないためどんな靴でも乗ることができる。針生では雪山をたやすく見つけることができる。板は針生の子どもたちと交流のある渋川さんがたくさん持っている。アウトドアスポーツとしてというより手軽な外遊びとしての雪板は、子どもたちにとっても始めやすく、雪と触れ合う良いきっかけとなるのではないかと感じた。

〈フリースペース見学～既存のフリースペースの視察と活用法の模索〉

①きとね（南会津町）

きとねには、

- ・ 林業・林産業に関連する事業者が連携を深める拠点機能
- ・ 「南会津町＝木の町」を広く周知する情報発信機能
- ・ 森林をより身近に感じてもらうための木育機能
- ・ 林業及び林産業の担い手を育成する研修機能
- ・ 魅力ある木材製品や森林由来の商品を展示・販売する機能

など様々な役割を担っている。地元の木材を使用した建物は木のいい香りで満たされている。建物のなかには広い共有スペースや会議室などがある。林業コンサルトをされている私たちの大学の先輩の会社もきとねで見ることができた。



②祇園会館（南会津町）

ジオラマづくりの参考にするため祇園会館のジオラマを見に行った。



③学びの学校やまざくら（下郷町）

約 20 世帯の小さな集落である戸赤。廃校になった学校をリノベーションして、宿泊やワークショップ、体験施設として利用されている。自然豊かな周りの山には祖先が植えた山桜が約 100 本ほどあり、春になると美しく咲き誇る。



④森林分校ふざわ（只見町）

山村の暮らし体験宿泊施設としての役割を果たしている。分校を中心とした「自然都市只見での過ごし方」を提供している。私たちがうかがった際、大学生の方がお話をしにいらしていた。様々な大学との関わりがあり活気がある場所であった。只見の町を盛り上げていくための1つの拠点に見えた。ジオラマやフリースペースのアドバイスをいただいた。

3 今後について

3-1 フリースペースを作る

〈背景〉

- ・通過するだけでなく針生に滞在する時間をとってもらいたい
- ・地域住民の方々同士はもちろん、観光で訪れた人も地元の方々との交流を求めているのではないか。
- ・高齢化が進んでいる針生では、一人で空き時間を過ごしている人や、年金のほかに収入を求めている人がいるのではないか。

〈私の想像するフリースペース〉

- ・誰でも
- ・いつでも
- ・フラット立ち寄ることのできるみんなの場所
(ex.暇つぶし、交流、待ち合わせ、観光…)
- ・たまにイベントが開催される
(ex.地域住民が主体となって手仕事のワークショップ、針生の山へハイキング、講師を呼ぶ…)
- ・ここにいれば誰かがいて何か起こりそうな場所

〈その他考えていること〉

- ・温泉の休憩室と合体
- ・お酒を提供する小さなお店と合体
- ・道の駅と連携
- ・ほしっぱにフリースペースとしての役割も果たしてもらおう
- ・地域の木材を使って縦ログで作る

〈森林分校ふざわ（只見町）の藤沼さんとお話しして考えたこと〉

- ・集落の人が毎日気軽に集まる場所を新たに作るのは難しい。
→地域の人と集う場所は集落内に既にある（ex.公民館や地区センターなど）。そしてそれらの利用にお金が発生しない。観光客を対象にした方がいいのでは？
- ・体験の場所にする
→おじいちゃんおばあちゃんを講師として呼ぶ。そしてそれで稼いでもらう。
- ・地域のおじいちゃんおばあちゃんが作った野菜などを売る場所を併設する
→地域の人移住者も観光客も。
- ・集落の人と観光客が上手く融和した場所を作るのはハードル高い。
- ・集まる場所を作るというより、地元の人 or 観光客にターゲットを絞った上で、そうじゃない方の立ち寄りハードルを低くする。
→ex.) 直売所の併設。おじいちゃんおばあちゃんが野菜を持ち込む。そのついでに宿泊者と話す。

3-2 ホームページ作成・動画編集

○福島県南会津町針生地区にて会社を営んでいる松澤さんの会社「SCOP」のホームページを作成する

<背景>

- ・現地に何度も行けるわけではないため、離れていても実施できる内容であること。
 - ・ホームページを作ることによって針生の会社が Web 上でヒットしやすくなる。
 - ・松澤さんがホームページ作りの依頼を検討していたこと。
- などが挙げられる

<今後の活動>

ホームページを作成したことのある学生が中心となり作成する。まず、会社の経営者である松澤さんとの連絡を取り合い、ホームページの完成図を共有する。その後、依頼者側からの要求に技術的に応えられる範囲と、できない範囲とを明確にしてこの企画を進めることとする。

○針生地区で地域おこし協力隊として活動している渋谷さんを YouTuber デビューさせるべく始動した企画

<背景>

- ・針生の自然について世間に知ってもらう必要があること
 - ・渋谷さんが普段から動画を撮影しており、素材が十分にあること
 - ・素材が十分にあるが、動画編集する時間を作ることができていなかったこと
 - ・渋谷さんが YouTuber に興味を持っていること
- などが挙げられる

<今後の活動>

針生に現存する素晴らしい自然の数々を世間に人に知ってもらうことなく、この活動が終わってしまうのはあまりにも悲しいことである。そうであるならば、針生を訪れたことのない人が針生を訪れるためには、認知してもらう必要がある。その足掛かりとして YouTube という手段をとることとする。SNS がこれほど発達した社会で、それを活用せず地域おこしをする事は勿体無いとしかいようがない。

しかしながら、これは渋谷さん本人の負担が大きいため、これも渋谷さんと連絡を取り合いどのような動画にするのかを相談する必要がある。

3-3 星空観察

<背景>

- ・南会津の星空は唯一無二の綺麗さ
- ・もっと星空の綺麗さを広めたいと考えたから

<南会津における星空観察の現状>

- ・町自体が星空を生かしていこうという方向性になってきている
- ・実際に星空観察会も行われている
- ・地元の人には思ったよりもまだ綺麗さに気付いていない
- ・使用できる望遠鏡は5.6台ほどある
- ・針生は小学校など人を集めやすく向いている
- ・曇りの日はプラネタリウムなどで対応

<課題>

- ・人が集まった時の交通
- ・子どもがすでに慣れてしまっていて興奮しない
- ・外部からツアーとして参加した人への対処が難しい
- ・天候に左右される
- ・観光客が一発でわかるようなシンボルがない
- ・地元の受け入れ体制が整っていない

<天候が悪く星空が見えない時のプログラム>

- ・プラネタリウム（既製品）
- ・発泡スチロールなどに適当な穴を開けたお手製プラネタリウムでオリジナル星座作り
- ・事前にタイムラプスなどで南会津の星空を撮影しそれを室内で見る
- ・星にまつわる講義のようなもの
- ・アプリを使って星空を楽しむ

<学生側の考えている企画>

星空観察会の中で星座を作る

→自分たちで実際に空を見て自由に星をつなげてオリジナルの星座を作ってもらおうというもの。作った後はそれを風景も含めて絵に描いてもらい発表する（どこかにまとめて展示して南会津だけの星空というようなスペースを作っても面白いかも）。

<今後行うべきこと>

- ・集まるのに最適な場所を探す
- ・どのようにして行うのか地元の人ともっとコミュニケーションを取る
- ・観光客などの外部の人にも知ってもらうためにはどう PR すべきかを考える

また、これらにプラスして南会津の広い土地と自然を利用した南会津発祥の新たなスポーツの可能性についても調査していきたいと考えている。

例えば

- ・チェイスタグという競技のコートをスギなどを利用して自然の中に作って独自のスポーツを作る
- ・冬は雪板を利用して南会津の段になっている棚田を滑りスピードを競うなど

3-4 ジオラマ作成

〈背景〉

- ・針生地区への訪問者が針生全体を知ることのできるものがほしい
- ・集落の方と一緒に作り上げるものを作りたい

〈具体的な内容〉

- ・針生地区全体のジオラマ作成
- ・主要施設、集落の人が注目する施設を中心に建物を作成
- ・現地で生活している卒業生のミニチュア作成
- ・ミニチュアのアニメーションと現地での実際の動画と融合させる
- ・ジオラマの中に QR コードを設置し、そこから動画を見られるような仕組みを作る

〈今後の活動〉

- ・現地の上空からの様子をドローンで撮影してもらう
- ・それをもとにジオラマを北海道で作成する
- ・ジオラマはパーツごとに作成する
- ・パーツは針生に持ち込んで、現地で結合する

〈課題〉

- ・設置場所が確定していない
- ・費用、作成時間の確保
- ・どこまでのクォリティで作成するのか
- ・1年間で作成するのか、下の学年に引き継ぐのか